

文部科学省「地(知)の拠点(COC)整備事業」(平成25～29年度)／「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(平成28～31年度)＝長岡地域＜創造人材＞養成プログラム

## 2018長岡大学地域連携研究センターシンポジウム 地域の人手不足と雇用のイノベーション

特集

業況改善と労働力人口の減少を背景に、県内の多くの現場で人手不足が深刻化しています。そうした中でも、省力化投資、就業環境の改善で定着率を向上するなどして業容を拡大している企業があります。人手不足は、働き手視点からの魅力創出や生産性向上など企業変革のチャンスだと言えます。

地域の人手不足はどのように展望され、それを見据えていかなる対応が成功企業への道で、さらには地域全体の発展につながるのか。これらの課題を考えるために、当センターは域内企業のヒアリングやアンケート調査を実施して参りました。本シンポジウムでは、調査結果報告と討論を通じて、地域における雇用問題の解決に向けた糸口を探ることが出来たのではないのでしょうか。

人手不足に関心をお持ちの、企業・行政・市民の方々など、約90名の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。感謝申し上げます。



### 記

- 1 名称 2018長岡大学地域連携研究センターシンポジウム
- 2 テーマ 地域の人手不足と雇用のイノベーション
- 3 時期 平成30年11月21日(水) 14:00～17:00
- 4 会場 まちなかキャンパス長岡 301会議室
- 5 参加費 無料
- 6 次第

総合司会：長岡大学地域連携研究センター運営委員長／教授 小松 俊 樹

あいさつ

長岡大学長／地域連携研究センター長 村山 光 博

第1部 基調報告 『地域企業の人手不足に関する基礎調査2018』調査結果から  
長岡大学教授 石川 英 樹

第2部 パネルディスカッション

テーマ：地域企業の人手不足の克服と雇用のイノベーションに向けて

パネリスト

コンドウ印刷株式会社 代表取締役

株式会社フーゲツ 代表取締役社長

三越タクシー株式会社 代表取締役社長

長岡市 商工部 産業支援課 係長

長岡大学教授・地域連携研究センター運営副委員長

長岡大学専任講師・地域連携研究センター運営委員

コーディネーター 長岡大学准教授・地域連携研究センター運営委員 栗井 英 大

近 藤 清 規 氏

千 葉 智 氏

野 村 修 士 氏

諸 橋 亜希子氏

石 川 英 樹

鈴 木 章 浩

- 7 主 催 長岡大学地域連携研究センター
- 後 援 長岡市、小千谷市、見附市、長岡商工会議所、小千谷商工会議所、見附商工会、  
NPO法人長岡産業活性化協会NAZE、公益財団法人にいがた産業創造機構、  
ながおか・若者・しごと機構

(登壇者の肩書きは開催当時のものです)

## 2018・11月長岡大学地域連携研究センターシンポジウム

### 主催者の開会あいさつ

長岡大学学長  
地域連携研究センター長

村山 光 博



本日はご多用のところ長岡大学地域連携研究センターのシンポジウムにご参加いただきましてありがとうございます。また、日頃より長岡大学の諸活動へのご支援とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

今回のシンポジウムの主催である長岡大学地域連携研究センターは、本学と地域の方々との連携の架け橋になることを目指し、いろいろな事業に取り組んでおります。センターの事業の一つとして、年度ごとに重点研究テーマを決めて調査研究を行い、その成果を毎年11月のシンポジウムにおける研究発表とディスカッションを通して地域に還元することを行って参りました。さらに、この調査研究の結果とシンポジウムの内容は、翌年発行する『地域連携研究』という論文集にまとめて広く配布しております。

ところで、最近の新卒学生の就職活動の状況はまさに売り手市場になっておりまして、本学でも早期に内定を獲得したり、あるいは一人で数社の内定をいただく学生が増えてきているという印象を持っています。一方で、地域の企業の方々とお話をさせていただくと、求人を出しても誰も応募してくれないとか、求人で採用を決めても辞退されるということをお聞きすることも多く、地域の人手不足は大きな問題になっていると感じます。

本日のテーマは「地域の人手不足と雇用のイノベーション」でございます。第一部では本学教授の石川がまとめた調査研究の結果報告をさせていただき、それに続く第二部では6名のパネリストの方々から意見をいただきたいと思います。今、人口減少や雇用の問題がある中で、いかに私達はそれを乗り越えていくのかについて皆様と一緒に考えて参りたいと存じます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。